

退任のご挨拶

ちはら台地区自治会連合会
平成21年度会長 前田 延明

【はじめに】

私は平成19年度から3年間、ちはら台地区自治会連合会の会長を力不足ながら務めさせて頂きました。この間、開発途上のちはら台の街が「安全で、安心して、快適に暮らせる」ように、私なりに一生懸命努力して来たつもりです。まだまだ、やり残した課題も多々ありますが、後任の役員の方々と会員の皆様とが一緒になって是非実現して貰いたいと考えて居ります。

私は良い街を作るんだとの思いが強くて時には強引な手法で皆様に不愉快な思いをさせたこともあると思います。この場お借りして謝りたいと思っています。

ちはら台の街づくりもまだまだ道半ばですが、平成25年度には明日、事業仕分けされるUR都市機構がこの地から、完全撤退して行くことになっています。また、H23年度にはUR都市機構が市原市と結んでいます幼稚園・保育園などの保留地等の協定も終了することになっていますので、これからの2～3年は大きな変化があり、きちっと対応する必要があると考えています。

【自治会活動と代議員制度について】

ちはら台地区は諸先輩のお蔭で、現在は、実質的な自治会加入率が80%以上で5,400世帯を超える自治会になっています。この自治会員の皆様が、魅力ある有意義な自治会だなあと感じて貰えるためには、自治会が単なる仲良しグループでなく「街づくり」の推進役として評価をして頂かねばならないと考えて活動して来ました。その方向付けがほぼ出来たのではないかと考えています。これらの活動を継続的に推進するために連合会の中に6つの委員会を設置し、代議員制度を導入して出来るだけ多くの方々に自治会活動に参加できるようにしました。これにより活動が活発になって参りました。従って、各自治会の会長さんは元より代議員や自治会会員の皆様は、今後の委員会活動に積極的に参加して一緒に課題の克服をして行って貰いたいと考えています。

【自治会活動の目的と手段について】

いつも申し上げます通り、自治会は自主的な任意団体ですが、原点、即ち、所期の目的は自分たちの生活が安全で安心して快適に住めるように一致団結するために生まれた組織だと思います。その為には住んでいる人々のコミュニケーションが最も重要です。その手段として夏祭りや体育祭などの行事が盛んにおこなわれるようになったと思います。

いざという時の防犯や防災、困った時のご近所の助け合いなどは近隣のコミュニケーション無しでは成り立ちません。

特にちはら台は全国各地から集まった寄り合い所帯ですので、地域コミュニケーションが非常に重要です。何のための自治会活動か？目的を見失わずに活発な参加お願いしたいと思います。

【皆様へのお願い】

- 1、各単位自治会並びに自治会連合会の活動には出来る範囲で出来るだけ多くの方の参加をお願いします。数は力です。そして、自治会連合会の行っている、ちはら台チャンネル放送やホームページ、コミュニティセンターの広報「ちはら台」などで自治会の活動内容を正確に理解してご協力をお願いします。他人のやったことを批判するのは簡単です。
役員は全員ボランティアです。報酬を貰って仕事をしているプロ集団ではありません。不十分なところも多いと思いますが、参加してその不十分なところをカバーして下さい。
- 2、特に、安全活動はこれから地域を挙げて絶対に強化して行かねばならない問題です。防犯パトロール隊のない地域は早急に立ち上げて活動して頂きたいと考えています。誰かがやってくれるだろうではなく、皆で一緒にやりましょう！にしましょう。
- 3、今後の街づくりで重要な事は10年後・20年後35,000人が住む街を想定して全員で団結して予め取り組んでいくことだと思っています。その為にはUR都市機構所有のコミュニティセンター隣地をURが第三者に売却する前に確保することが重要です。

【結び】

ちはら台では、まだまだ課題が多いと思います。些細なことでもいがみ合わず小異を捨てて大同につくことが重要だと思います。「継続は力なり」です。引き続き皆で力合わせて良い街にして行きましょう！

以上